

天然アスファルト基材屋根用超耐久塗料

ダイコート

ONE-COAT Ultra Lifelong Roofing Compound

製造元：Interex International Ltd. (英国)

優秀建材を世界から

欧米建材直輸入・販売・施工



本 社 大阪市住吉区長居東3-11-23 TEL 06-6696-1155 FAX 06-6696-1175
東 京 支 店 東京都大田区大森北3-1-14 TEL 03-3761-1505 FAX 03-3761-1519
名古屋支店 名古屋市中区丸の内2-14-4 TEL 052-221-6551 FAX 052-221-8993
九 州 支 店 鳥 栖 市 曾 根 崎 町 1 6 3 5 - 8 TEL 0942-85-3858 FAX 0942-85-3851
☎フリーダイヤル (本社) 0120-061155

タイ (バンコク) TEL +66- (0) 2-714-3251 ~ 3 FAX +66- (0) 2-714-3254
ホームページ www.daikoshokai.com 電子メール daiko@daikoshokai.com



製造元：Interex International Ltd. (英国)

日本総代理店：  株式会社大高商会

10年～20年も長期に耐久する 超経済的な屋根用塗料

天然アスファルト基材

天然アスファルトを基材にして、アルミフレークを多量に混合した屋根用塗料「ダイコート」は、耐久力に極めて優れています。

天然アスファルト (Natural Bitumen) は古代エジプトの棺の目地防水にも使用されていたという歴史ある建築材料で、近代には防水剤としてヨーロッパで広く使われています。

精製された天然アスファルト、雲母、クレイ、高純度のアルミペースト、不乾油などが相互に補強しあって長期間の耐久性・防食性を発揮します。

固形分が65%で、そのうち天然アスファルト成分が半分以上という優れたものです。

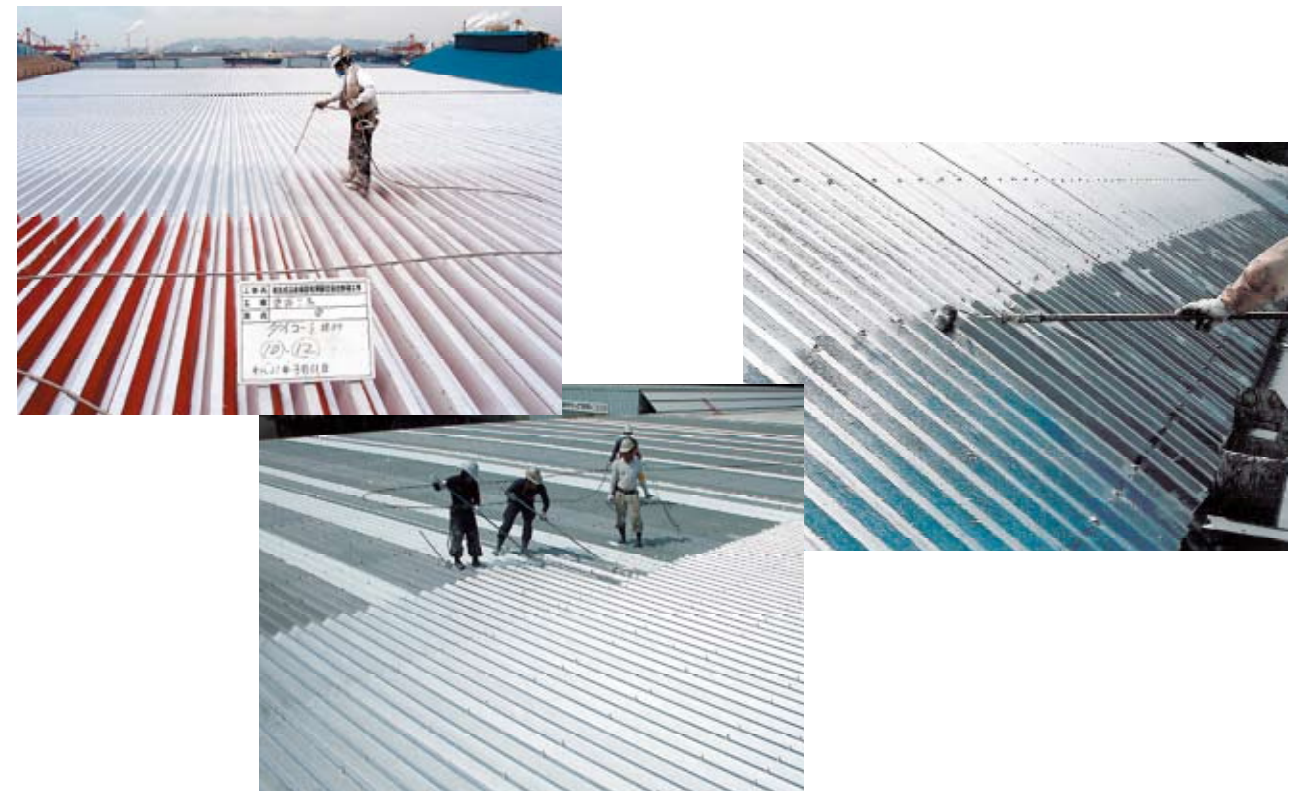


英国生まれのダイコートには南米トリニダード・トバゴ産の天然アスファルトを使用しています。

1回塗りで250～300ミクロン(ドライ)の膜厚

ダイコートは刷毛・ローラー・吹付のいずれでも塗装ができて、施工が容易です。

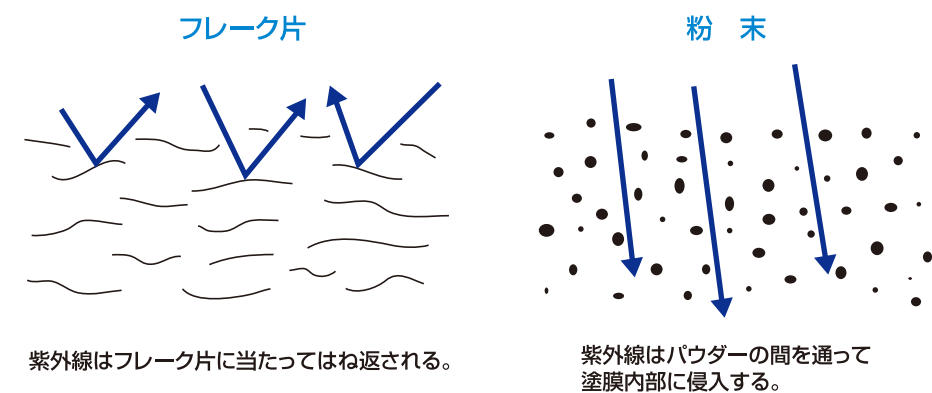
1回塗りで厚膜を得られるので作業員費が安くて済みます。だから、安価な施工が可能なのです。



アルミペーストはフレーク状

ダイコートに混合されているアルミペーストはフレーク(鱗)状であり、塗膜を劣化させる紫外線を強力にはね返します。

パウダー(粉)状であれば、紫外線は容易に内部へ侵入して劣化を早めます。ダイコートは高品質のフレーク状アルミを多量に混合していますから、他社品とは耐久力が違います。



塗膜は柔軟性に富み、花咲き現象を起こしません

ダイコートを塗装した鉄板を180度に曲げる行動を何度も繰り返しても、塗膜に亀裂は入りません。それだけの柔軟性に富んだ塗膜なのです。

普通ペイントのように塗膜がひび割れたり、剥離したりすることは全くありません。

ダイコートならこんな現象は起きません



50年以上の歴史と国内1,000万m²以上の実績

ダイコートは1970年の日本導入以来、国内の製鉄会社などの大手企業を中心に工場や倉庫の屋根に採用されて来ました。15～20年を経てもまだ塗り替えに至らない施工屋根が多数あって、その耐久性・経済性が高く評価されています。(別冊実績一覧表をご参照下さい)



錆止塗料は不要

ビチューメン成分に防錆力があります。また塗膜が非常に厚いので、錆の発生要因である酸素を通しません。ですから余程ひどい発錆状況でない限り、通常では錆止塗料は不要です。

より長期の耐久性を求められる場合は錆止塗装をされることが望ましいです。

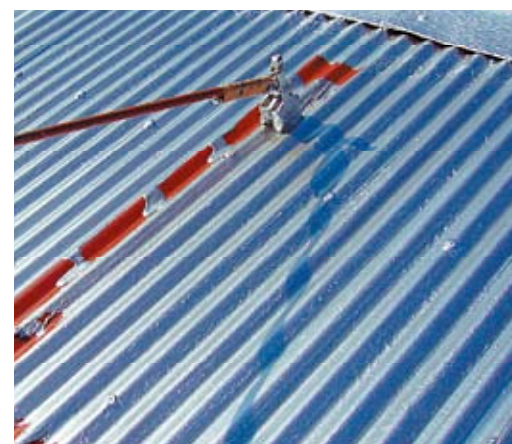
防食性に優れる

最近の大气には亜硫酸ガスなど化学成分が含まれているので、塗膜の劣化を早めてしまいます。ダイコートは酸性にもアルカリ性にも強力に抵抗して、長期間塗膜を守り続けます。

また、海岸近くの建屋では塩分による塗膜劣化が激しいですが、ダイコートは塩分にも十分耐久します。

次の塗り替え塗装が簡単

ダイコートは塗膜の表面から少しずつ薄くなって劣化しますから、ひび割れや剥離を起こすことはありません。下地鉄板が露出してきたり錆が見えてきたら、再度「ダイコート」を塗れば完全です。この場合ケレン作業は不要です。



防水性に優れる

ダイコートの厚膜で柔軟な塗膜は、腐食穴や釘穴のような小さな穴を埋めて雨水を通しません。またフックボルトのゆるみにもコーキング剤の働きをして防水効果を発揮します。



コクヨ(株) 伊那配送センター

大きな防水補修は「ルーフテープ」で

屋根鉄板の合せ目や水切り鉄板の接合部など雨水侵入の原因となる危険個所の補修は、専用の防水シール材「ルーフテープ」(幅50mm～600mm×10m)の活用で完全な防水補修が可能です。



ダイコートは下地を選びません

ダイコートはあらゆる下地に密着します。ウォッシュ・プライマーも不要です。塗膜剥離を起こす亜鉛引鉄板やアルミ板にも密着しますし、塩ビ被膜鋼板の塗装にも適しています。



電動サンダーによる下地ケレン作業



新日本製鐵(株) 広畑製鉄所

【ダイコート】性能試験

試験法 JIS-K-5400に準ず

項 目		試験項目	シルバー	レッド	シルバーグリーン	シルバーブルー
促進耐候性 研 磨 軟 鋼 板 錆発生軟鋼板 亜 鉛 引 鉄 板		ウエザオメーター (サンシャイン型) 2000時間	いずれも 光沢消失以外に 異常なし	いずれも 光沢消失以外に 異常なし	いずれも 光沢消失以外に 異常なし	いずれも 光沢消失以外に 異常なし
塩水噴霧試験		35℃ 1000時間	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
冷熱サイクル試験		-10℃～60℃ 10サイクル	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
密 着 性	ゴバン目 (2mm)	研磨軟鋼板	100/100	100/100	100/100	100/100
		錆発生軟鋼板	100/100	100/100	100/100	100/100
		亜鉛引鉄板	100/100	100/100	100/100	100/100
		カラートタン	100/100	100/100	100/100	100/100
	エクセリン 5mm押出し	研磨軟鋼板	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
		錆発生軟鋼板	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
		亜鉛引鉄板	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
		カラートタン	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	描 画	研磨軟鋼板	剥離なし	剥離なし	剥離なし	剥離なし
		錆発生軟鋼板	剥離なし	剥離なし	剥離なし	剥離なし
		亜鉛引鉄板	剥離なし	剥離なし	剥離なし	剥離なし
		カラートタン	剥離なし	剥離なし	剥離なし	剥離なし
耐水試験		清 水	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし
耐塩水試験		10%塩水	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし
耐薬品試験	硫 酸 10%		10日間異常なし	10日間異常なし	10日間異常なし	10日間異常なし
	塩 酸 10%		10日間異常なし	10日間異常なし	10日間異常なし	10日間異常なし
	苛性ソーダ 10%		10日間異常なし	10日間異常なし	10日間異常なし	10日間異常なし
	C a O 100%		3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし	3ヶ月異常なし
	酢 酸 10%		7日間異常なし	7日間異常なし	7日間異常なし	7日間異常なし
耐屈曲性		6mmφ	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
塗膜硬度		初期→ 100時間	6B以下-HB	6B以下-HB	6B以下-HB	6B以下-HB

試験体	塗 布 量	0.5kg/m ²
	亜鉛引鉄板	ウォッシュブライマーなどによる表面処理なし
	錆発生軟鋼板	研磨軟鋼板を1ヶ月間屋外暴露し、発生した錆をワイヤーブラシでケレンしたもの
	研磨軟鋼板	新品鋼板
	カラータタン	新品鋼板

PH・CODの試験

(財)日本塗料検査協会 S60.2.14

試験方法

1サイクルはサンシャインウエザオメーター照射70分、暗22時間50分、塗装24時間後に各サイクルテストを行い、各サイクルテスト後の浸漬液の調整方法は、塗板1cm²あたり3mlの割合の蒸留水に浸漬し、2時間後に塗板を引き上げて、その浸漬液についてPH・CODを測定。

		シルバー	レッド	シルバーグリーン
1サイクル後	PH (20℃)	5.9	6.0	6.1
	COD (mg/L)	0.2	0.2	0.4
5サイクル後	PH (20℃)	5.9	6.0	6.1
	COD (mg/L)	0.2	0.2	0.4
10サイクル後	PH (20℃)	5.9	6.0	6.1
	COD (mg/L)	0.3	0.4	0.7

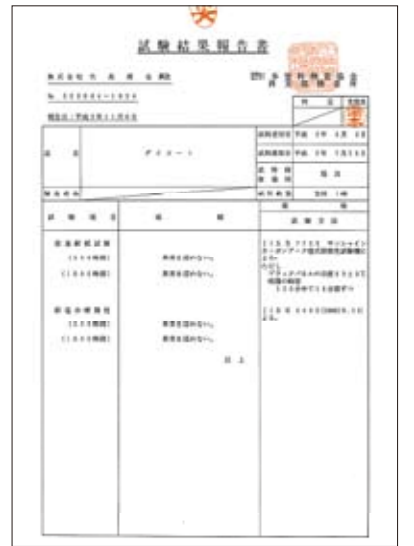
耐久性試験（英国研究機関）

鉄板にダイコートと他社品を塗布してASTEM B-117に基づく耐塩水噴霧試験を行いました。あらかじめ塗膜面にクロスカットを入れてからの1000時間の試験です。試験後、塗膜の半分を剥離剤で取り除き、下地鉄板の腐食の程度を調査しています。

ダイコート



他社品



※日本の試験機関でのデータ

試験板の左半分は1000時間（40℃）の塩水噴霧試験後の塗膜劣化の状況。右半分は塗膜除去後の下地鉄板の腐食状態。明らかな性能差が出ています。

施 工 要 領

1. 素地調整 ケレン

ダイコートは、素地に密着すると最大限に効力を発揮しますので、できるだけ素地を出すようにケレンして下さい。旧塗膜のある場合は、密着した活膜は残せますが、古い膜や浮き膜は完全に落として下さい。

2. 塗 装

刷毛、ローラー、吹付塗装(エアレス)、いずれも可能です。
エアレスの場合：空気圧 5~6kg/cm³、口径 1.3~1.8mm、ホース内径 9mm以上

3.塗布量

ドライ膜厚250～300ミクロンの膜厚、10年以上の耐久を得るには、 0.5kg/m^2 ($60\text{m}^2/\text{缶}$) の塗布量で塗装して下さい。

4. 防錆処理

ダイコートは、それ自体で防錆力をもっていますので通常は不要です。発錆の著しい場合、また完璧を期す場合には、防錆塗料を下地塗装して下さい。

5. 希 釈

希釈はペイントシンナー、ラッカーシンナーで約1割程度希釈して下さい。攪拌機で十分攪拌して下さい。

6. 乾 燥

接触 30～60分 完全乾燥 1～2日

7. 注意事項

塗装時に多少の色ムラが出たり、またカラーものは暗色がかかりますが、日が経つにつれてムラが消え、色調が安定します。降雨の予想される時は塗装を避けて下さい。

色種・容量

シルバー 30kg

レッド、シルバーグリーン、シルバーブルー 20kg

古いスレート屋根の寿命を大幅に延ばす事ができます

1. 下地処理

比較的新しい面には、ビチューメン・プライマーを塗装します。表面劣化している古い面は、劣化層を樹脂で固めて安定させる下地固定剤「CTプライマー」を含浸塗装します。

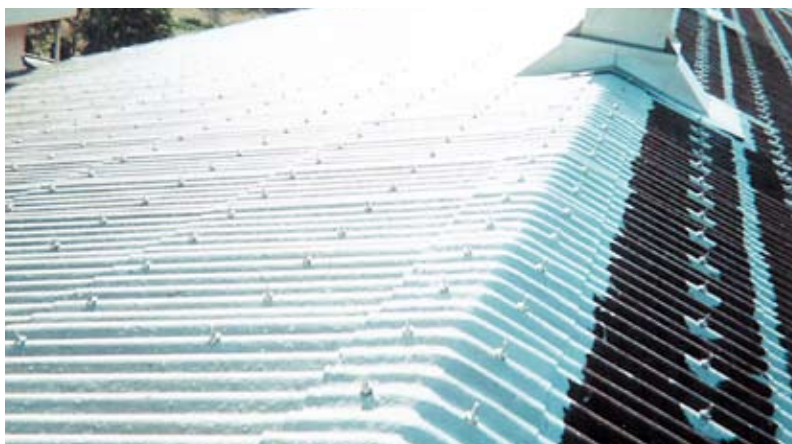
2. ダイコートを0.5kg/m²の塗布量で塗装します（1回塗り）。



施工前



プライマー塗装



「ダイコート」塗装

東芝(株)・東芝物流(株)

姫路、太子、大分、北九州、
加賀、静岡、京浜工場 他
昭和51年10月～
面積 380,000m²

塗装前



塗装後



麒麟ビール株式会社

京都、尼崎、福岡、高崎、
滋賀、取手、名古屋工場 他
昭和51年10月～
面積 300,000m²



JFEスチール株式会社

福山、京浜製鉄所 他
昭和60年12月～
面積 500,000m²



新日本製鐵株式会社

堺、広畑、名古屋、君津、
大分、室蘭製鉄所 他
昭和60年9月～
面積 450,000m²



その他

本田技研工業(株)	狭山、真岡、熊本製作所 他	90,000m ²	パナソニック(株)	草津、豊中、春日井 他	132,000m ²
三菱電機(株)	伊丹、長崎、中津川、高崎、赤穂製作所 他	90,000m ²	(株)ジェイテクト	亀山、国分、徳島、東京工場 他	95,000m ²
(株)日立製作所	日立、清水、東海、水戸工場 他	40,000m ²	三菱レイヨン(株)	豊橋、大竹、富山工場 他	75,000m ²
ユニバーサル造船(株)	有明、舞鶴造船所 他	176,000m ²	キッコーマン(株)	野田工場、中根プラント 他	66,000m ²
日新製鋼(株)	堺、呉製鋼所	100,000m ²			

※別冊の施工実績表をご覧ください。